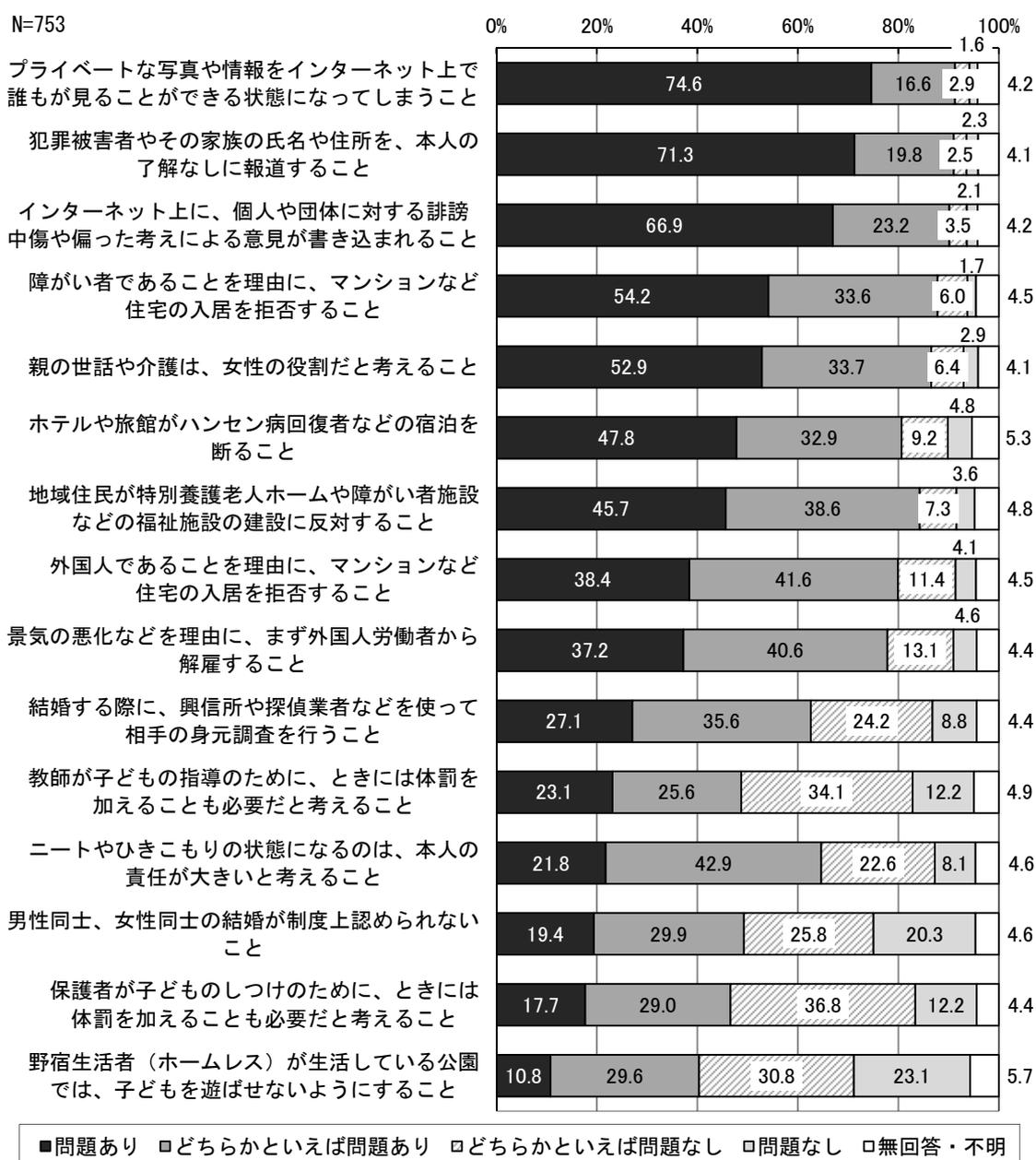


## 第二章 人権問題や差別についての意識

### 1 基本的な人権問題に関する意識

#### (1) 質問と回答の状況

問1 あなたは、次の(1)～(15)について、人権上どの程度問題があると思いますか。すべてのことがらについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)



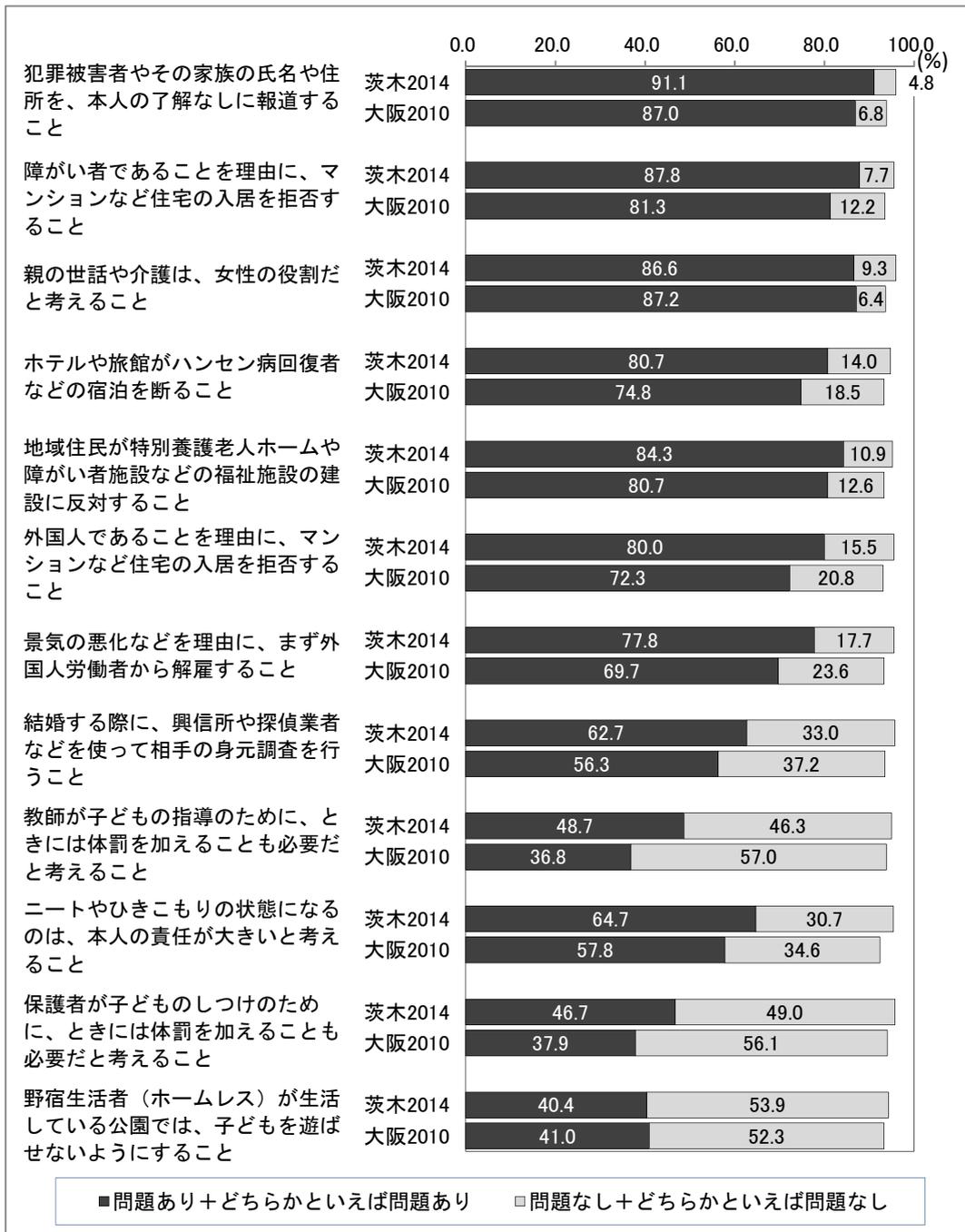
いくつかの人権にかかわる状況について、問題だと思うかどうかを尋ねたところ、問題があるという回答が最も多かったのは、「プライベートな写真や情報をインターネット上で誰も見ることができる状態になってしまうこと」、最も少なかったのは、「野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること」となっています。インターネットや犯罪被害者等、近年注目されているテーマで問題を感じる人が多くなっている一方で、「野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること」、「男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと」については、「問題なし」が2割を超えています。これらに加え、教師や保護者の「体罰」についての質問でも、「問題あり」と「どちらかといえば問題あり」の合計は半数に満たず、人権上の問題としてはとらえていない人が多くいることがうかがえます。

## （2）大阪府調査との比較

本調査は、2010年に実施された大阪府「人権問題に関する府民意識調査」（有効回答数903）、2005年に実施された前回調査である、茨木市「人権問題に関する市民意識調査」（有効回答数1,435）といくつかの質問が共通しており、大阪府全体の意識調査と比較することで本市の特徴を示すことや、過去の調査と比較することで意識の変化を示すことが可能となっています。本報告書では、比較が可能な設問についてはすべて、比較した結果を示しています。

この質問について、同様の設問を含んでいる大阪府の調査と比較すると、全体として本調査の結果の方が「問題がある」という回答が多くなっており、比較的人権上の問題を感じる人が多いことがうかがえます。教師の体罰について、特に差が大きくなっていますが、これは大阪府の調査の後に、学校の部活動における体罰事件が大きなニュースになったことなどが影響していると考えられます。

## ■2010年大阪府調査との比較



※大阪府調査の回答者数は903（以下特に表示がない場合は同様）

### （3）性別・年齢別・学歴別・暮らし向き別集計

性別で見ると、保護者や教師の体罰については女性の方が「問題あり」又は「どちらかといえば問題あり」の比率が高く、同性婚についても、同様の傾向が見られます。

年齢別でみると、「野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること」については、50歳代以上で「問題あり」又は「どちらかといえば問題あり」が多くなるのに対し、「男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと」については40歳代以下で「問題あり」又は「どちらかといえば問題あり」が多くなっています。また、回答者数が少ないため明確な傾向とは判定できませんが、20歳代については全体的に「問題あり」という回答が少なく、「保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること」や「ニートやひきこもりの状態になるのは、本人の責任が大きいと考えること」については、「問題あり」と「どちらかといえば問題あり」の合計についても他の世代より少なくなっています。

暮らし向き別でみると、「ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること」や「外国人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること」について、暮らし向きを悪いと感じている人ほど「問題あり」又は「どちらかといえば問題あり」という回答が少なくなっています。

問1 あなたは、次の(1)～(15)について、人権上どの程度問題があると思いますか。すべてのことがらについて、あなたのお考えにもっとも近いものをお答えください。(それぞれ1つに○)

(1) 親の世話や介護は、女性の役割だと考えること  
 (2) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		52.9	33.7	6.4	2.9	4.1	17.7	29.0	36.8	12.2	4.4
性別	女性 (N=418)	53.1	33.3	7.2	3.3	3.1	20.8	32.8	34.2	9.1	3.1
	男性 (N=310)	53.5	34.8	5.5	1.9	4.2	14.8	23.9	41.0	15.8	4.5
年齢	20歳代 (N=48)	37.5	50.0	6.3	2.1	4.2	18.8	16.7	50.0	10.4	4.2
	30歳代 (N=107)	66.4	26.2	3.7	1.9	1.9	14.0	40.2	37.4	6.5	1.9
	40歳代 (N=135)	60.0	28.9	6.7	2.2	2.2	20.0	29.6	34.1	14.1	2.2
	50歳代 (N=127)	59.8	32.3	3.9	1.6	2.4	19.7	32.3	31.5	13.4	3.1
	60歳代 (N=153)	52.3	35.3	5.2	3.3	3.9	17.0	31.4	38.6	9.2	3.9
	70歳以上 (N=172)	40.1	38.4	11.0	4.7	5.8	18.0	20.3	39.5	16.3	5.8
暮らし向き	良い (N=206)	52.9	35.0	6.8	2.9	2.4	20.4	20.9	44.2	12.1	2.4
	ふつう (N=411)	56.2	31.6	6.3	2.2	3.6	17.5	32.6	34.5	11.7	3.6
	悪い (N=123)	44.7	39.0	5.7	4.9	5.7	15.4	30.9	34.1	13.0	6.5

※暮らし向きについては、「良い」と「やや良い」の合計を「良い」、「悪い」と「やや悪い」の合計を「悪い」としています(以下同様)。

(3) プライベートな写真や情報をインターネット上で誰も見ることができる状態になってしまうこと

(4) ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		74.6	16.6	2.9	1.6	4.2	47.8	32.9	9.2	4.8	5.3
性別	女性 (N=418)	75.8	17.0	3.3	0.7	3.1	45.2	35.6	8.9	5.7	4.5
	男性 (N=310)	74.5	16.5	2.6	2.3	4.2	52.3	30.6	9.4	2.9	4.8
年齢	20歳代 (N=48)	56.3	31.3	6.3	2.1	4.2	31.3	41.7	14.6	8.3	4.2
	30歳代 (N=107)	64.5	27.1	4.7	1.9	1.9	54.2	25.2	15.0	3.7	1.9
	40歳代 (N=135)	76.3	15.6	3.7	2.2	2.2	51.1	31.9	11.9	3.0	2.2
	50歳代 (N=127)	74.0	18.9	2.4	0.8	3.9	52.0	33.1	6.3	5.5	3.1
	60歳代 (N=153)	81.0	11.8	2.6	0.7	3.9	51.0	36.6	3.3	3.9	5.2
	70歳以上 (N=172)	82.0	10.5	1.2	1.7	4.7	41.3	34.3	9.9	5.8	8.7
暮らし向き	良い (N=206)	75.2	17.0	2.4	2.4	2.9	52.4	30.6	8.7	3.4	4.9
	ふつう (N=411)	74.7	18.0	3.4	0.2	3.6	47.9	34.5	8.8	4.4	4.4
	悪い (N=123)	76.4	12.2	2.4	4.1	4.9	41.5	33.3	11.4	8.1	5.7

(5) 結婚する際に、興信所や探偵業者などを使って相手の身元調査を行うこと

(6) 外国人であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		27.1	35.6	24.2	8.8	4.4	38.4	41.6	11.4	4.1	4.5
性別	女性 (N=418)	23.2	40.4	23.4	9.3	3.6	35.9	44.0	12.4	4.1	3.6
	男性 (N=310)	32.6	29.4	26.5	7.7	3.9	41.6	40.0	10.6	3.5	4.2
年齢	20歳代 (N=48)	14.6	43.8	25.0	12.5	4.2	39.6	41.7	12.5	2.1	4.2
	30歳代 (N=107)	29.9	35.5	24.3	8.4	1.9	47.7	29.9	15.0	5.6	1.9
	40歳代 (N=135)	27.4	34.1	27.4	8.9	2.2	32.6	49.6	12.6	3.0	2.2
	50歳代 (N=127)	22.8	43.3	22.8	8.7	2.4	31.5	53.5	10.2	2.4	2.4
	60歳代 (N=153)	26.1	37.9	20.9	9.8	5.2	34.0	45.1	11.1	4.6	5.2
	70歳以上 (N=172)	32.6	28.5	26.7	7.0	5.2	46.5	32.6	9.9	5.2	5.8
暮らし向き	良い (N=206)	26.2	31.6	30.1	9.7	2.4	43.2	40.3	9.2	4.9	2.4
	ふつう (N=411)	28.5	37.7	22.4	7.3	4.1	38.4	41.8	12.9	2.7	4.1
	悪い (N=123)	23.6	37.4	22.0	12.2	4.9	30.9	45.5	10.6	7.3	5.7

(7) 障がい者であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること

(8) ニートやひきこもりの状態になるのは、本人の責任が大きいと考えること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		54.2	33.6	6.0	1.7	4.5	21.8	42.9	22.6	8.1	4.6
性別	女性 (N=418)	49.8	37.6	7.2	1.7	3.8	23.7	43.3	21.5	7.7	3.8
	男性 (N=310)	61.3	29.0	4.5	1.3	3.9	18.7	43.9	23.9	9.4	4.2
年齢	20歳代 (N=48)	56.3	25.0	14.6	-	4.2	8.3	43.8	35.4	8.3	4.2
	30歳代 (N=107)	63.6	29.0	3.7	1.9	1.9	23.4	44.9	17.8	12.1	1.9
	40歳代 (N=135)	47.4	40.7	7.4	0.7	3.7	12.6	48.1	28.9	7.4	3.0
	50歳代 (N=127)	49.6	40.9	5.5	1.6	2.4	23.6	39.4	27.6	7.1	2.4
	60歳代 (N=153)	54.2	34.0	5.2	2.0	4.6	24.8	47.1	19.0	4.6	4.6
	70歳以上 (N=172)	58.1	29.1	5.2	2.3	5.2	27.3	39.0	16.9	10.5	6.4
暮らし向き	良い (N=206)	52.4	37.4	5.3	1.9	2.9	16.5	49.0	22.3	9.7	2.4
	ふつう (N=411)	56.9	31.9	5.8	1.5	3.9	24.6	40.6	22.9	7.5	4.4
	悪い (N=123)	50.4	34.1	8.1	1.6	5.7	21.1	43.9	22.8	7.3	4.9

(9) 犯罪被害者やその家族の氏名や住所を、本人の了解なしに報道すること

(10) 景気の悪化などを理由に、まず外国人労働者から解雇すること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		71.3	19.8	2.5	2.3	4.1	37.2	40.6	13.1	4.6	4.4
性別	女性 (N=418)	73.9	18.2	2.9	1.9	3.1	37.8	43.1	11.7	3.8	3.6
	男性 (N=310)	70.3	21.6	1.9	2.3	3.9	36.8	38.4	15.8	5.2	3.9
年齢	20歳代 (N=48)	70.8	20.8	2.1	2.1	4.2	35.4	43.8	12.5	4.2	4.2
	30歳代 (N=107)	74.8	15.9	4.7	2.8	1.9	45.8	33.6	12.1	6.5	1.9
	40歳代 (N=135)	74.1	19.3	3.7	0.7	2.2	34.1	47.4	12.6	3.7	2.2
	50歳代 (N=127)	72.4	22.0	-	3.1	2.4	33.1	42.5	15.7	6.3	2.4
	60歳代 (N=153)	71.2	20.9	2.0	2.0	3.9	34.6	48.4	10.5	1.3	5.2
	70歳以上 (N=172)	69.2	19.8	2.9	2.9	5.2	40.7	32.6	15.7	5.8	5.2
暮らし向き	良い (N=206)	67.5	22.3	4.4	3.4	2.4	35.4	42.2	14.6	5.3	2.4
	ふつう (N=411)	74.0	19.0	1.9	1.5	3.6	38.4	41.4	12.9	3.4	3.9
	悪い (N=123)	71.5	18.7	1.6	3.3	4.9	37.4	37.4	13.0	7.3	4.9

(11) 地域住民が特別養護老人ホームや障がい者施設などの福祉施設の建設に反対すること

(12) 野宿生活者（ホームレス）が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		45.7	38.6	7.3	3.6	4.8	10.8	29.6	30.8	23.1	5.7
性別	女性 (N=418)	44.5	39.0	9.3	3.1	4.1	9.3	28.0	31.1	27.0	4.5
	男性 (N=310)	48.7	39.0	4.5	3.5	4.2	13.5	31.6	30.6	18.4	5.8
年齢	20歳代 (N=48)	18.8	58.3	10.4	8.3	4.2	2.1	22.9	39.6	31.3	4.2
	30歳代 (N=107)	41.1	42.1	11.2	3.7	1.9	12.1	19.6	39.3	26.2	2.8
	40歳代 (N=135)	43.0	40.7	11.1	3.0	2.2	7.4	18.5	32.6	38.5	3.0
	50歳代 (N=127)	46.5	42.5	6.3	1.6	3.1	11.8	29.9	31.5	22.8	3.9
	60歳代 (N=153)	48.4	37.3	5.9	3.3	5.2	11.1	38.6	29.4	14.4	6.5
	70歳以上 (N=172)	55.8	30.2	3.5	4.1	6.4	14.5	39.5	22.7	15.7	7.6
暮らし向き	良い (N=206)	45.6	41.7	7.8	2.4	2.4	8.7	25.2	37.4	24.8	3.9
	ふつう (N=411)	47.2	37.7	6.6	3.9	4.6	11.9	33.6	27.7	21.7	5.1
	悪い (N=123)	41.5	39.8	9.8	4.1	4.9	11.4	26.0	29.3	26.8	6.5

(13) 教師が子どもの指導のために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること

(14) 男性同士、女性同士の結婚が制度上認められないこと

		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明	問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		23.1	25.6	34.1	12.2	4.9	19.4	29.9	25.8	20.3	4.6
性別	女性 (N=418)	26.6	28.5	32.1	8.6	4.3	22.0	33.0	25.4	15.8	3.8
	男性 (N=310)	19.7	21.9	36.8	17.4	4.2	16.5	25.8	27.4	26.1	4.2
年齢	20歳代 (N=48)	22.9	22.9	39.6	10.4	4.2	27.1	37.5	18.8	12.5	4.2
	30歳代 (N=107)	29.9	25.2	30.8	12.1	1.9	28.0	36.4	19.6	14.0	1.9
	40歳代 (N=135)	25.9	28.1	30.4	13.3	2.2	20.0	34.8	24.4	17.8	3.0
	50歳代 (N=127)	15.0	35.4	34.6	12.6	2.4	13.4	29.9	37.8	16.5	2.4
	60歳代 (N=153)	24.2	23.5	37.3	9.8	5.2	18.3	28.8	26.1	20.9	5.9
	70歳以上 (N=172)	22.1	20.3	35.5	14.5	7.6	17.4	22.7	24.4	30.2	5.2
暮らし向き	良い (N=206)	21.8	27.7	33.5	14.6	2.4	22.3	32.0	24.3	18.4	2.9
	ふつう (N=411)	24.3	26.3	34.5	10.0	4.9	18.5	29.4	27.0	20.7	4.4
	悪い (N=123)	22.0	21.1	35.0	17.1	4.9	17.9	30.9	24.4	22.0	4.9

(15) インターネット上に、個人や団体に対する誹謗中傷や偏った考えによる意見が書き込まれること

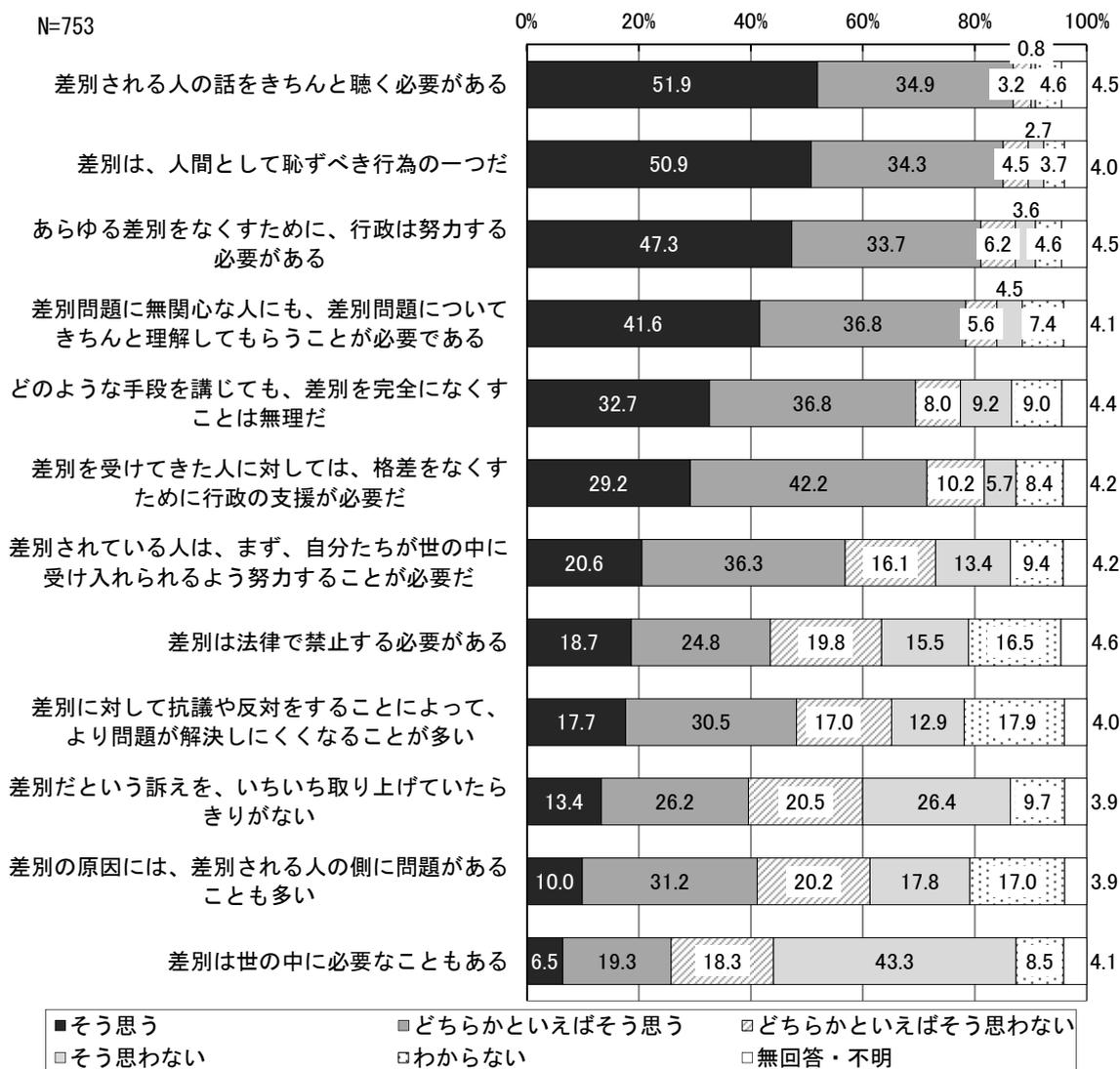
		問題あり	どちらかといえ ば問題あり	どちらかといえ ば問題なし	問題なし	無回答・不明
全体 (N=753)		66.9	23.2	3.5	2.1	4.2
性別	女性 (N=418)	71.3	20.3	3.8	1.4	3.1
	男性 (N=310)	62.3	27.7	2.9	2.9	4.2
年齢	20歳代 (N=48)	54.2	29.2	6.3	6.3	4.2
	30歳代 (N=107)	59.8	26.2	7.5	4.7	1.9
	40歳代 (N=135)	61.5	30.4	3.7	2.2	2.2
	50歳代 (N=127)	70.9	22.0	3.9	0.8	2.4
	60歳代 (N=153)	69.3	22.9	2.0	1.3	4.6
	70歳以上 (N=172)	76.2	16.3	1.2	1.2	5.2
暮らし向き	良い (N=206)	68.4	21.4	5.8	1.5	2.9
	ふつう (N=411)	68.1	23.6	2.7	2.2	3.4
	悪い (N=123)	63.4	26.0	2.4	3.3	4.9

## 2 差別に関する基本的な認識

### (1) 質問と回答の状況

問2 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。

(1)～(12)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)



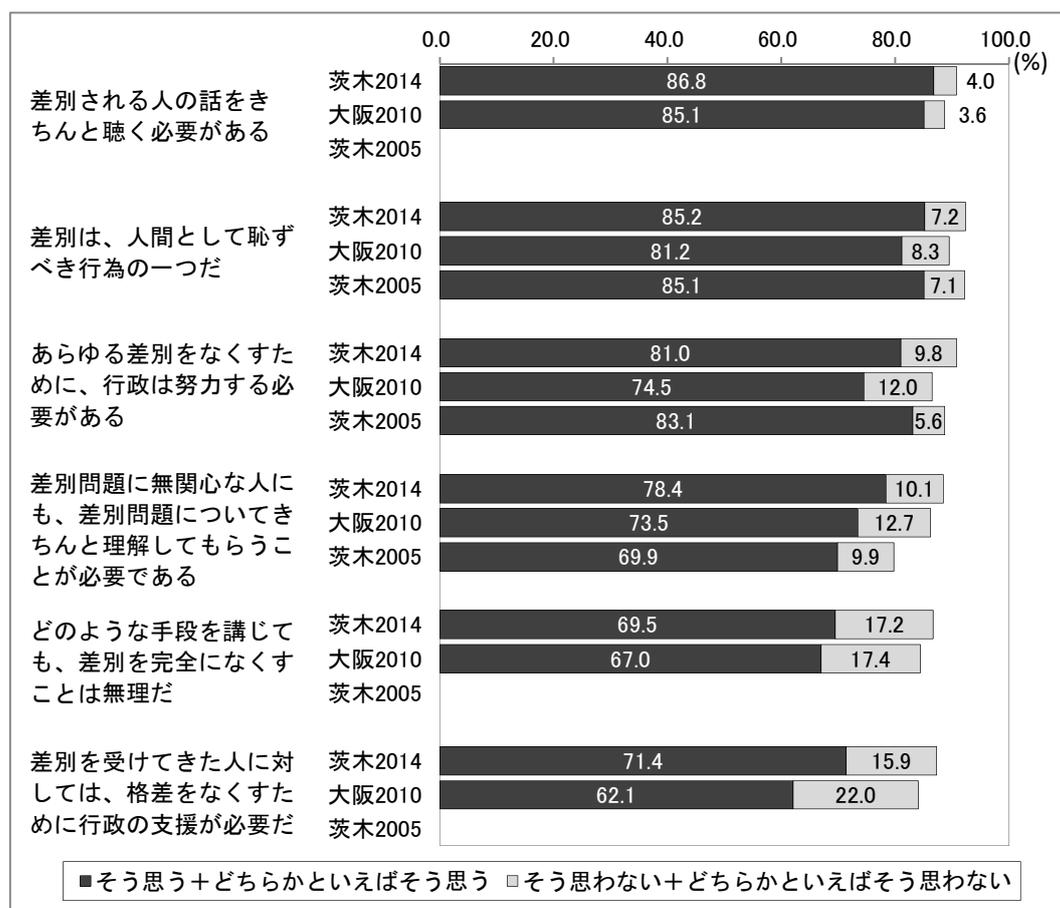
差別に関する基本的な認識と、その解決のための方策についての質問では、「そう思う」が最も多かったのは「差別される人の話をきちんと聴く必要がある」、最も少なかったのは、「差別は世の中に必要なこともある」でした。差別をなくすために、「行政が努力する必要がある」や「格差をなくすための行政の支援が必要」といった意見については、7割程度の人が賛成（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）しています。

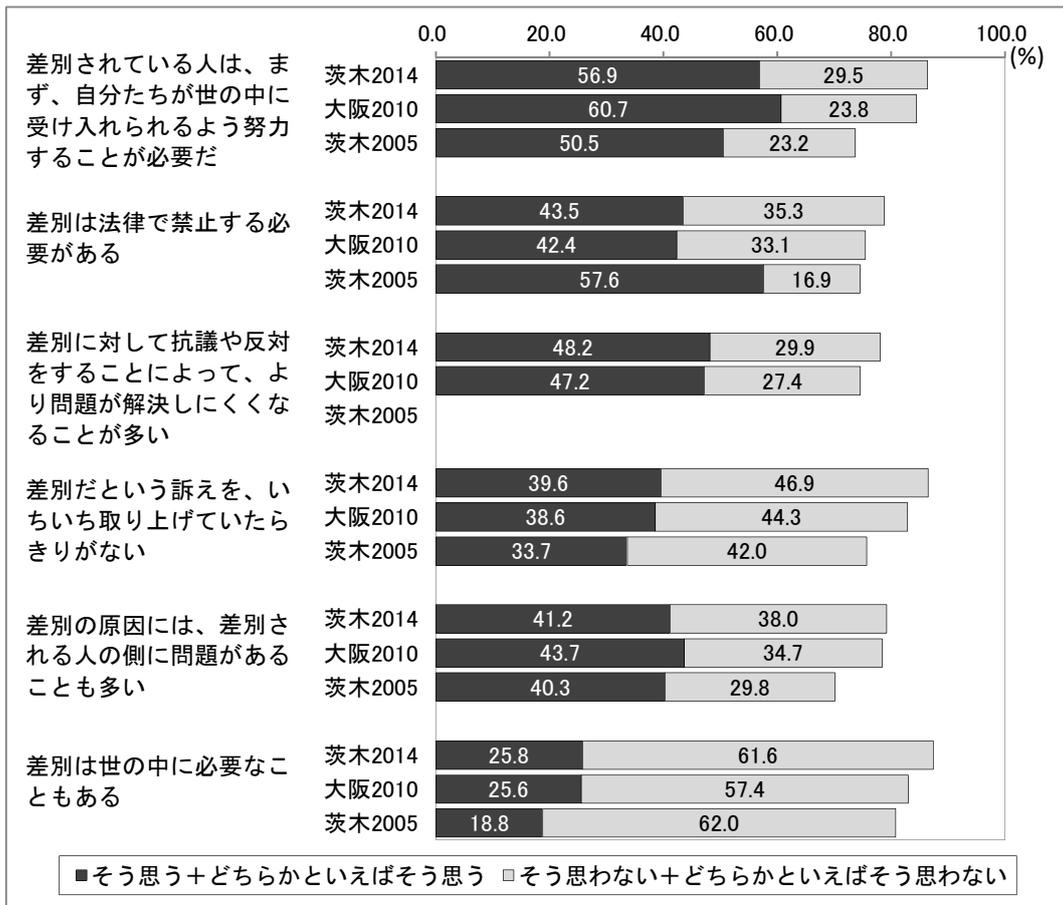
一方で、「差別されている人は、まず世の中に受け入れられるよう努力することが必要」は5割台、「差別の原因は差別される側にあることも多い」は4割程度の賛成があり、差別される側に問題があると考える意見への賛成も一定数あることが示されています。

## (2) 大阪府調査・前回調査との比較

大阪府調査と比較すると、行政の努力・支援や「無関心な人にきちんと理解してもらうこと」の必要性についての賛成が多くなっています。また、差別される側に問題があるという意見については、反対がやや多くなっています。全体として、差別問題の解決のための努力に好意的で、差別される人に対して寛容的な姿勢を示す人が多いと言えるでしょう。

茨木市の2005年の調査と比較すると、「きちんと理解してもらうことが必要」に賛成が増加している一方で、「法律で禁止する必要がある」は大きく減少しています。また、「差別は世の中に必要」、「訴えをいちいち取り上げていたらきりがない」、「差別されている人は、まず世の中に受け入れられるよう努力することが必要」についても、賛成がやや増加しており、差別問題の解決に対して厳しい見方をする人が増えていることもうかがえます。



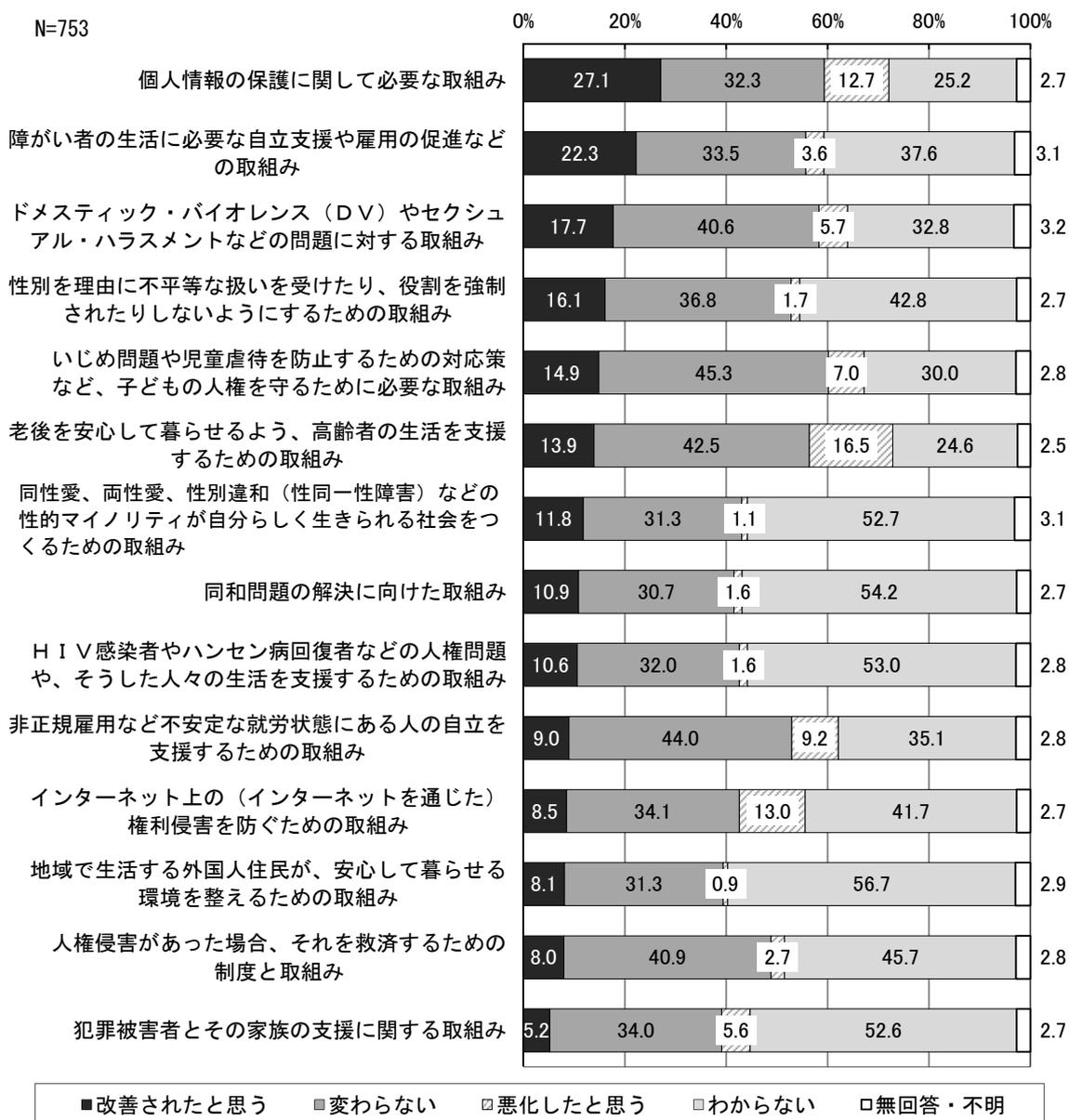


※茨木2005は「賛成」「どちらかといえば賛成」「どちらかといえば反対」「反対」で回答。回答者数は1,435（以下特に表示がない場合は同様）

### 3 行政の取組み状況についての認識

#### (1) 質問と回答の状況

問3 あなたは、次の項目に関する行政の取組み状況について、この5年間に、改善されたと思いますか、悪化したと思いますか。(1)～(14)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

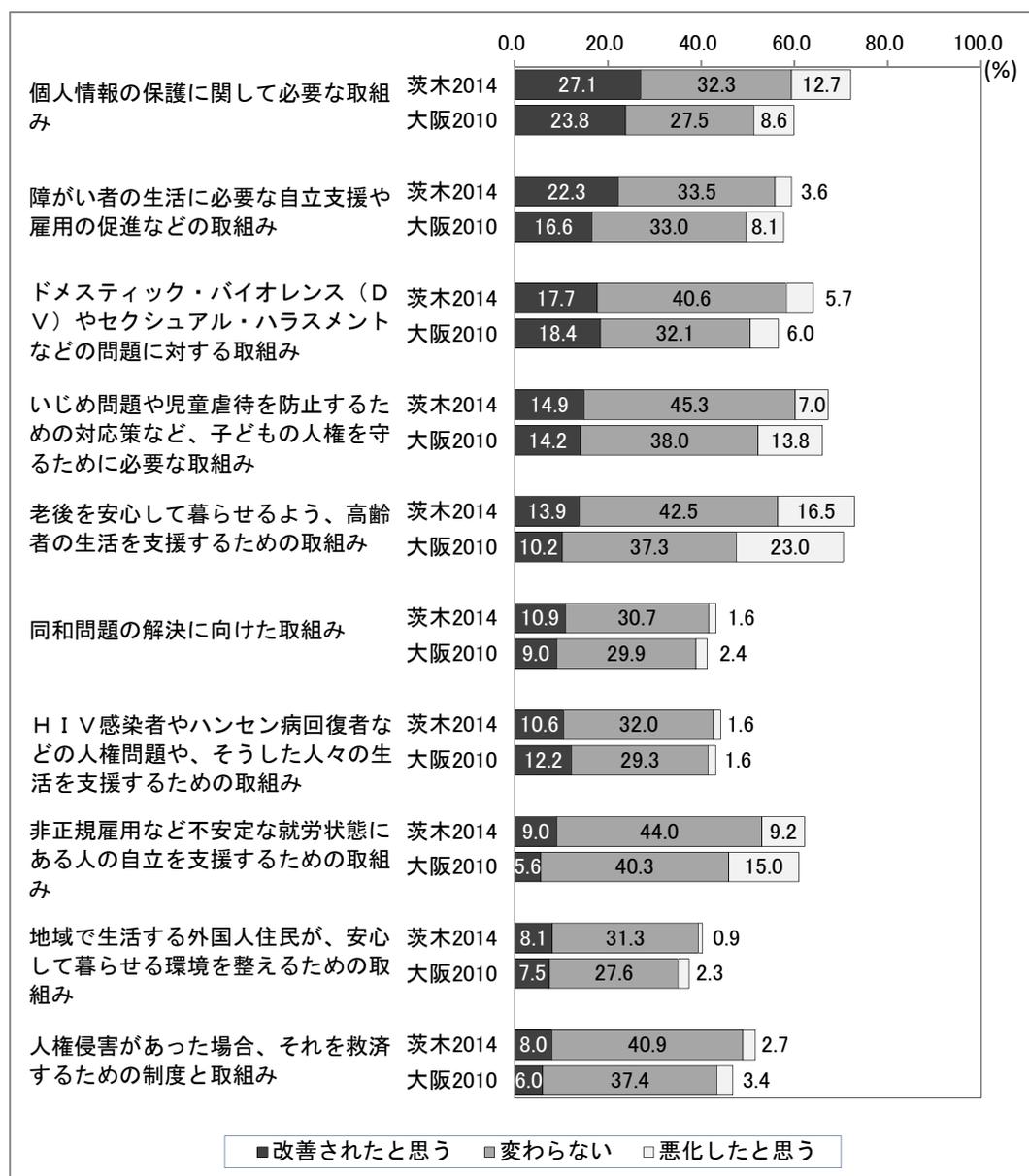


全体的に、「わからない」という回答が多く、行政の取組み状況について判断できない回答者が多かったようです。多くの項目で「改善されたと思う」が「悪化したと思う」を上回っており、行政の取組みが改善したと評価している回答が多くなっています。特に、「障がい者の自立支援や雇用の促進」、「性別による不平等に関する取組み」については、「改

善」が「悪化」を大きく上回っています。一方、「高齢者の生活の支援」、「不安定な就労状態にある人の自立支援」「インターネット上の権利侵害」、「犯罪被害者とその家族の支援」については、「悪化したと思う」がやや多くなっています。

## (2) 大阪府調査との比較

大阪府調査と比較すると、回答の傾向はほとんど変わりませんが、全体的に「改善されたと思う」が多く、「悪化したと思う」が少なくなっており、本調査の方が行政の取り組みの成果を肯定的にとらえていると言えます。



※大阪府調査に含まれていない質問は図から省いています（以下同様）